



2021年4月19日

各位

会社名 明豊ファシリティワークス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大貫 美
(コード番号：1717 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 経営企画本部長 大島 和男
電話番号 03-5211-0066

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年2月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 個別業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,945	700	700	474	円 銭 39.77
今回修正予想 (B)	4,220	900	900	610	51.44
増減額 (B-A)	275	200	200	136	
増減率 (%)	7.0	28.6	28.6	28.7	
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	4,353	902	906	639	52.98

(2) 修正の理由

新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響が不透明な中で、当社は2020年5月15日に通期業績予想を開示し、その後様々な影響を受けながらも多くの関係者と共に個々のプロジェクト目標達成に邁進した結果として、当該予想を上回る見込みになったことから、2021年2月5日の決算短信発表時に通期業績予想を上方修正しました。2021年2月5日時点では、緊急事態宣言が延長されることで、顧客の投資判断が様子見となる可能性、新規受注プロジェクトの着手時期が遅延する可能性及び進行中プロジェクトを一時停止等することで売上計上時期が2021年4月以降へ遅れるリスクがあったことから、これらの減額要因を踏まえ、2月5日時点で達成可能と見込まれる業績予想を開示いたしました。

本日、当社の配当方針を変更するにあたり、当該配当性向の基礎となる2021年3月期の通期業績予想につきまして、最新の予想に修正させていただくものであります。

2021年2月5日以降、緊急事態宣言が延長される環境にありながらも、顧客の投資に関する意思決定は大きな影響を受けることなく、むしろ社会的にCM（コンストラクション・マネジメント：発注者支援事業）への期待が高まり、当社の認知度の向上もあり、当社が提案する機会を多く

いただくことができ、2020年3月期を超える受注粗利益（注）を計上できる見込みとなりました。また同様に、受注済み進行中プロジェクトにつきまして、大きな影響を受けることなく進捗し、過去最高であった2020年3月期を超える売上粗利益（注）を計上できる見込みとなりました。これらのことから売上高が予想を超える見込みとなり、販売費および一般管理費は予想通りになる見込みであることから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、予想を超える見込みとなりました。

（注）粗利益は、受注高（または売上高）から社内コスト以外の原価（工事費等）を差し引いたものです。当社の受注高（または売上高）は、顧客との契約形態（ピュアCM方式とアットリスクCM方式）によって金額が大きく変動するため、社内における業績管理は、この粗利益を用いております。

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることに留意ください。

以上